

2026（令和8）年度 事業計画書

（自：令和8年4月1日 至：令和9年3月31日）

一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会

2026（令和8）年度
一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会事業計画

I 計画にあたって

訪日外国人旅行者の動向は、2020年から2022年までは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い大きく減少した。2022年6月から外国人観光客の受入を再開し、2023年10月には2019年同月の水準に回復し、2025年は年間で4,268万人^{*1}と過去最高を記録している。また、^{*2}国内旅行者では、2024年の日本人旅行者が延べ5.4億人と2019年と比較し8.2%の減となっている。一方で、日本人国内旅行者消費額は25.1兆円と2019年比14.5%増の過去最高額となった。

目黒区への来訪者数については、デジタル観光統計オープンデータによると2025年375万人と前年比26.0%の増となっている。

しかしながら、世界各地域では紛争が激化し、観光産業に与える影響も懸念され、予断を許さない状況となっている。私たちめぐろ観光まちづくり協会では、目黒区が掲げる平和を礎に、区民、事業者、行政が一体となって、人々の交流を促進し、にぎわいと活力あふれるまち、文化の高いまちの実現を目指して、観光振興に取り組んでいきます。

また、2026（令和8）年度は、法人化10周年を迎えることから、周年記念事業を観光振興の機会ととらえて実施する。

*1 観光局（JNTO）発表

*2 観光白書（令和7年）

II 主要事業（予定）

1 会員の獲得

新規会員の募集については、めぐろ区報で周知する他、都市ボーイズトークショー、観光事業や観光検定に参加した区民等に対し、積極的に働きかけて会員増を図る。

会員への情報共有のためのメールマガジン、情報紙を発行する。また、法人会員については、各法人のバナーを協会ウェブサイトに掲載するとともに、会員価格を設定したうえで印刷物等への広告掲載を優先的に行う。

【会員の状況】

令和8年3月31日現在

区 分	会員数			年度当初
	正会員	賛助会員	計	
個人	16	185	201	221
法人	33	16	49	48
計	49	201	250	269

2 周年記念事業

当協会は、令和8年7月に一般社団法人となって10年を迎える。(仮称)めぐる観光フェアを開催し、めぐる土産の販売、観光写真コンクール、新作落語の発表など、これまでの観光振興事業を広く広報し、めぐる観光まちづくり協会の認知・理解の促進を図る。また、名誉会長タモリ氏や都市ボーイズによるトークショウにより広く区民が参加するイベントとする。

日時 令和9年2月7日(日)

場所 中目黒GTプラザホール、広場、ギャラリー

3 会員への還元事業の実施

- (1) 都市ボーイズトークライブ
- (2) 目黒観光講座

4 観光事業

- (1) まち歩き事業
- (2) 目黒観光検定
- (3) 目黒観光写真コンクール及びめぐる土産発掘
- (4) 観光マップやガイドブック等の作成・配布

5 広報及び宣伝の充実

- (1) めぐる観光PR動画制作及び配信
- (2) ネットラジオの配信
- (3) 「MEGURO レジェンダース」の認知度向上事業
- (4) 公式ウェブサイトやSNSによる情報発信

6 自主財源の確保

- (1) 会員の増強
- (2) オリジナルグッズ等の開発・製作・販売
- (3) 各種広告料収入
- (4) 各種助成金等の活用
- (5) 関係団体等からの受託事業収入

7 人材育成事業

- (1) 観光ボランティアガイド養成講座
- (2) 観光ボランティアガイドレベルアップ事業
- (3) 職員研修の充実

8 友好都市交流事業

- (1) 各都市のイベントへの参加

- (2) 各都市からの出展支援
- (3) 区民参加による友好都市への交流ツアー

9 その他関係団体との連携事業

- (1) 目黒区との共催や後援事業の実施
- (2) 東京目黒ロータリークラブの We Love Meguro 共催
- (3) 各地域のエリアマネジメントやまちづくりの事業支援
- (4) MOA 美術館児童作品展後援

10 大学等との連携

- (1) インターンシップの推進
- (2) 東京音楽大学、東京大学、東京科学大学等との連携

11 運営会議等の開催

個人の正会員及び賛助会員等との情報共有の場として、運営会議を開催する。
また、ボランティアガイド等との意見交換会を開催する。

以 上